

平成28年

# 希望の家だより

3月号

例年になく暖冬で、雪の少ない新年を迎えました。希望の家の利用者の皆さんは、自分の得意とする作業に取り組んでいます。3月からは『くだもの村』の依頼でりんごの皮むき作業が毎日のように続いています。

昨年同様、本年も「希望の家」の諸活動につきまして、ご協力とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## 体験学習生からメッセージ

前回の「希望の家だより」で小樽明峰高校の1年生二人が希望の家で社会体験学習をしていることを紹介しましたが、この度、二人から体験学習レポートが届きましたので、一部紹介します。

### 「頑張りました！」 1年5組 高坂 紗弥

希望の家の人たちは、とっても優しくてみんなすごく良い人でした。いつも帰りの電車の時間や、体調などの心配をしてくれていました。

希望の家での学習内容は、余市の道の駅で売る陶芸や、編み物、小物やかわいいキーホルダーを一緒に作りました。陶芸や編み物をするのは初めてだったので、すごく難しかったです。でも、うまく出来た時は、たくさんほめてもらったり、ダメなところは直してくれたりしました。

実習で楽しかったことは、編み物をしている時も、陶芸をしている時も楽しかったけれど希望の家の人たちとおしゃべりしている時が、一番楽しかったです。覚えが早くて良いねと言われて嬉しかったです。辛かったことは、余市までの行き帰りが遠くて大変でした。

希望の家に実習に行って、周りの人から頼りにされることと、感謝されることの大きさをたくさん学びました。今は、まだまだなにもできないので、もっと人に頼りにされたりたくさん感謝されるような人になりたいです。

お母さんに、実習の陶芸の時に作ったコップをプレゼントしました。とても喜んで毎日使ってくれています。頑張ったので嬉しかったです。

実習で一番お世話になった小野寺さんに最後の実習の時に、「どんなことがあっても負けないで。」と言われました。だから、すごく辛いときも頑張ろうと思えました。短い時間でしたが、いろんなことをたくさん教えてもらいました。



これから社会体験学習をする人は頑張ってください。私にとっての社会体験学習は、2年後社会人になる私たちに絶対に役立つ大切な授業だと思いました。

### 「色々あった…」 1年5組 山岸 なぎさ

希望の家は就職活動をしている障害者の方々がいるところです。明峰ショップ（売店）で売っている焼きそばやいももちを作っています。他にも陶芸や刺しゅうなどを作っている人達もいます。



私はその中で陶芸を体験させていただきました。小学校の時にも湯のみを作りましたが、高校生になって本格的にやって、とても良い体験になりました。教え方もわかりやすかったですし、真剣に取り組めました。

私はすごく不思議に思いました。普通の人々が障害を持っていたりして「なんでだろ。」とか、「かわいそうだな…」とか私は何度も思いました。その人達と比べたら私はのんきにバイトをしたりして…。私はすごく考えました。「そういう運命だったのか…」考えましたが、そんな口だけ言っというて、障害者の人達に悪いと思いました。

本当に色々あった社会体験学習でした。2年生になってもまたやりたいです。

### 希望の家から二人へ

二人はいつも礼儀正しく素直で、周りから好かれる中、若さを全面に出して作業をしていました。希望の家では、作業体験もさることながら、障害にくじけず、明るく働いている利用者の方々と生活を共にしたことで学ぶことが多々あったと思います。

## 希望の家を支えてくれる多くの会員に感謝！

希望の家の利用者の皆さんが、いろいろな活動を通じて、自立した日常生活、社会生活を営むことができるように必要な訓練を行っています。希望の家は、この趣旨に賛同された多くの会員の方々に支えられて運営されています。

27年度も48名の会員（正会員17名・賛助会員31名（内団体1））の加入をいただきました。役員職員一同心から深く感謝申し上げます。

## 通所希望者募集

障がいにくじけず、前向きに頑張っている仲間やスタッフがあなたを待っています。

私たちは、いつでも温かく迎え入れます。お気軽にお問い合わせ下さい。

希望の家 ☎ 0135-23-7115 担当 施設長 高橋 徹

【メール】 [info@kibouno-ie.org](mailto:info@kibouno-ie.org) 【ホームページ】 <http://www.kibouno-ie.org/>